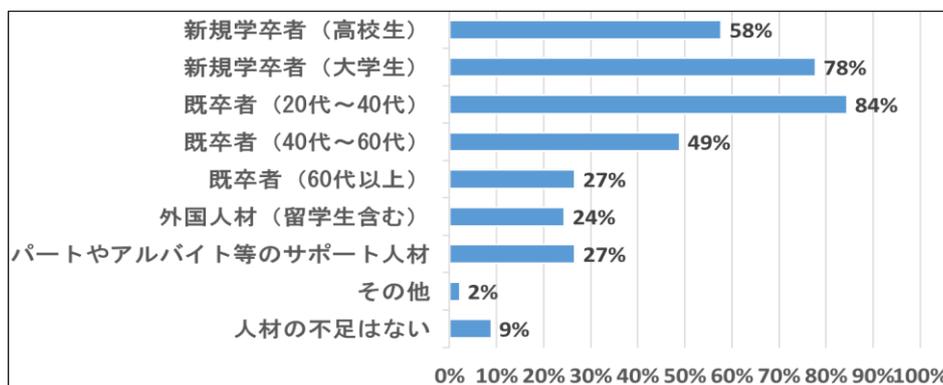


◆小売・その他サービス業 調査結果◆

問1:学生・既卒等の人材に関する質問(小売・その他サービス業)

問1 Q1: 貴社が求める人材の内訳は? 回答事業者数: 45/46

○既卒者(20代~40代)を中心に40代までの人材を希望している。

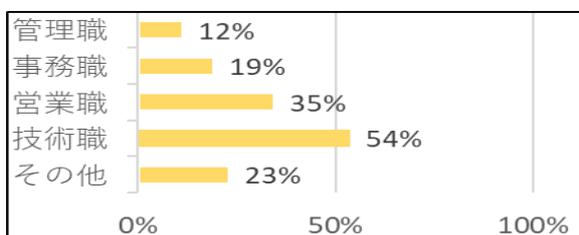


問1 Q1: 求める人材の職種の内訳は?

○他業種に比べ、営業職の需要が高く、中でも新規学卒者(大学生)が多くなっている。一方、技術職として40代以上を求める傾向となっている。

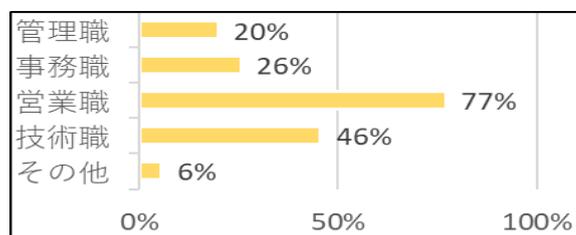
・新規学卒者(高校生)に求める職種

回答事業者数: 26/46



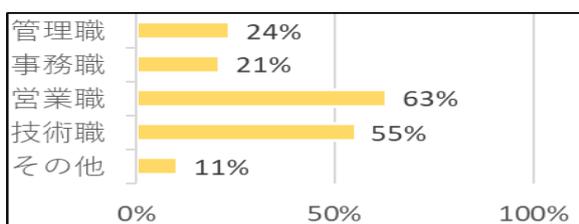
・新規学卒者(大学生)に求める職種

回答事業者数: 35/46



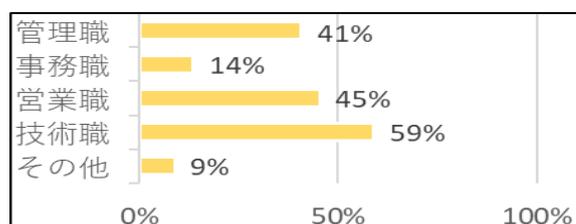
・既卒者(20代~40代)に求める職種

回答事業者数: 38/46



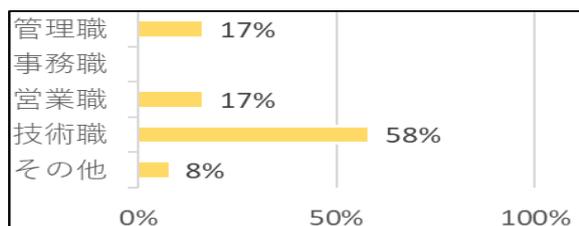
・既卒者(40代~60代)に求める職種

回答事業者数: 22/46



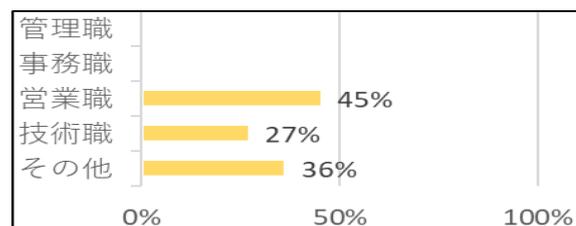
・既卒者(60代以上)に求める職種

回答事業者数: 12/46



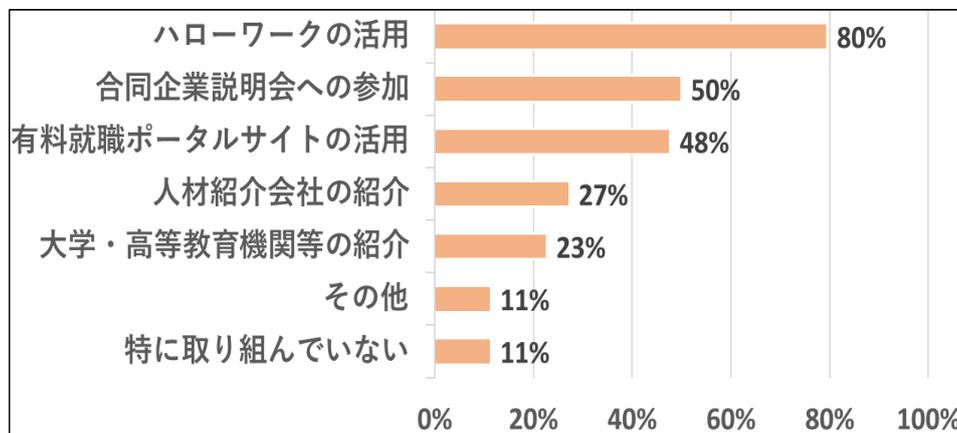
・外国人材(留学生含む)に求める職種

回答事業者数: 11/46



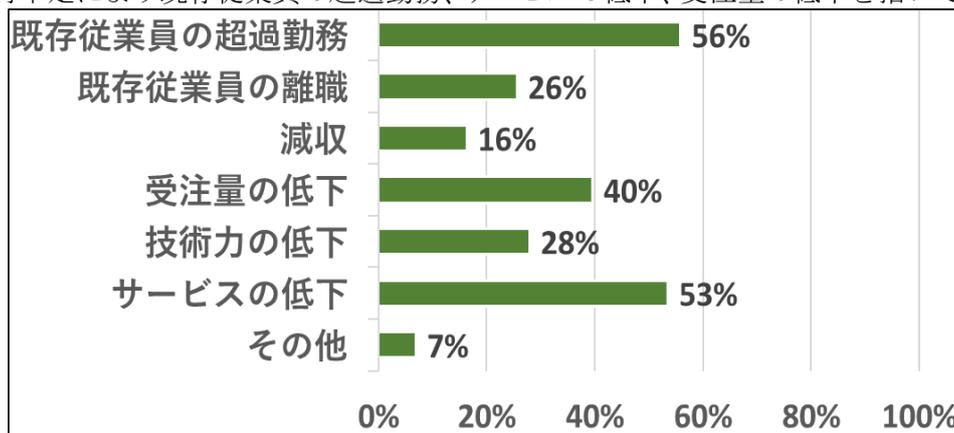
問 1Q2：求める人材を確保する為に取り組んでいることは？ 回答事業者数 44/46

○ハローワークの活用その他、合同企業説明会への参加、有料就職ポータルサイトの活用に取り組んでいる。



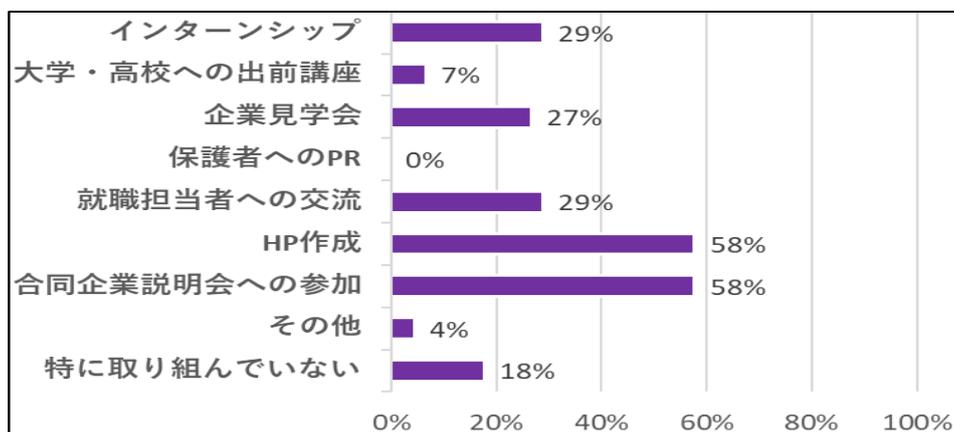
問 1Q3：人材の不足が業務にどのような支障をきたしますか？ 回答事業者数 43/46

○人材不足により既存従業員の超過勤務、サービスの低下、受注量の低下を招いている。



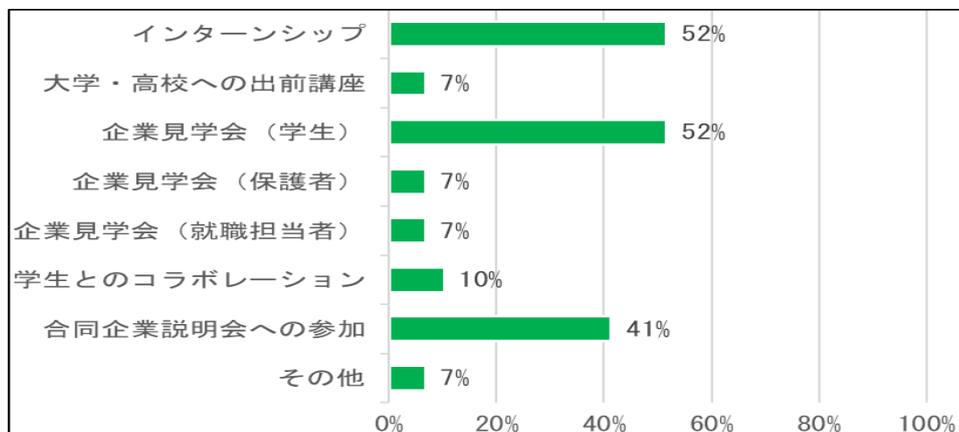
問 1Q4：自社 PR の為に取り組んでいることは？ 回答事業者数 45/46

○HP 作成、合同企業説明会への参加が高く、若年層への PR を目指している一方で保護者への PR と答えた事業者はなかった。



問 1Q5：自社 PR の為に今後取り組みたいことは？ 回答事業者数 29/46

○企業見学会、インターンシップへの取り組み、合同企業説明会への参加を目指している事業者が多くなっている。



問 2：外国人材(特定技能)・技能実習生に関する調査(小売・その他サービス業)

問 2Q1：技能実習生・特定技能・その他（留学生・エンジニアを含む）について、受け入れている人数は何人か？ 回答事業者 6/46

○小売業・その他サービス業全体の 46 回答事業者数に対して、回答者数が 6 事業者と低く、外国人材の受け入れにはあまり取り組んでいない。

単位：者

受け入れ人数	現在（技能実習）	現在（特定技能）	現在（その他）
5人以下	2	0	3
6人～10人	0	0	0
11人～15人	0	0	0
16人以上	1	0	0

問 2Q1：技能実習生・特定技能・その他（留学生・エンジニアを含む）について、今後受け入れる予定の人数は何人か？ 回答事業者数 6/46

○技能実習生、その他共に 3 者が回答した。